

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
「版画」は明治の後半あたりから使われ始めた言葉でいわゆる造語です。そこには版にも独自の表現があるのだ、版画はすなわち版で描く画（え）だという意識がうかがえます。こうした版画について歴史的な知識を学び、より興味をもち、関心をたかめ、理解を深めていくことを目標にします。			
【講義概要】			
まずは様々な版画がどのように展開をしたのかから始め、次に日本を中心に浮世絵版画及び近・現代版画までを実際の作品や資料、画像などからわかりやすく解説していきます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話①（版の表現）		
2	版画よもやま話②（版画の技法）		
3	版画よもやま話③（素材と用語）		
4	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画②技法と制作システム		
6	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢		
7	日本開国！横浜絵と開化絵		
8	光線画の浮世絵師・小林清親		
9	日本の近代版画と創作版画運動		
10	詩と版画		
11	東京国際版画ビエンナーレと現代版画		
12	時代の寵児・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012-2020年）。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	留学生・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論	天野純治	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品鑑賞		
6	作品プレゼンテーション		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品鑑賞		
12	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞、山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部（1年制）	2024年度	留学生・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。			
【講義概要】			
宮田徹也『芸術を愛し、求める人々へ』（論創社 2020年 ISBN978-4-8460-1895-5 C0070）の該当箇所（章を跨いだ通し番号）を予め読んで来てください。その上で考え、質問し、意見を交換する。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な答だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	『芸術を愛し、求める人々へ』1,2,3,4章		
3	//	5,6,7章	
4	//	8章	
5	//	9章134頁まで	
6	//	9章135頁から154頁まで	
7	//	10章	
8	//	11章	
9	//	12章、13章	
10	//	14章	
11	まとめ。		
12	総括		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95 : A+ 94~80 : A 79~70 : B 69~60 : C) 不合格 (59~0 : D) 仮処置 : 保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川宙雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語A(アート研究)	蔣 燕萍	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける ②語彙力の向上			
【講義概要】			
日本語能力試験N1未取得者対象の言語知識、読解、聴解の実践練習および模擬試験。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	模擬試験		
6	講義		
7	講義		
8	模擬試験		
9	試験対策		
10	試験対策		
11	試験対策		
12	試験対策		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語B(アート研究)	メロス言語学院講師	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
・一分間スピーチ……あらかじめ提示したテーマに沿って、一分間ずつ話してもらう。 ・Show&Tell……日本文化やデザインに関するテーマについて調べ、ビジュアルとともに発表してもらう。 ・美術語彙の聞き取り……『美の巨人たち』や『日曜美術館』といった美術に関する番組を視聴し、タスクシートを用いながら美術用語等の聞き取りを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	中間試験		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語C(アート研究)	中田 真梨子	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では、日本語の会話力の向上を目指します。			
【講義概要】			
この授業では、文化/芸術/エンターテインメント/社会問題にかんする異なる2つのテーマについて日本語で考え、会話をします。 以下の①②③④⑤を2セット行い、日常会話で役に立つフレーズ/語彙を身につけ、日本語の口語能力を鍛えます。			
① テキスト/映像資料によるテーマの発表、フレーズ/語彙の解説 (20分)			
② 各自、テーマにかんするリサーチ (10分)			
③ プレインストーミング (15分)			
④ 各自、テーマにかんするスピーチの準備 (15分)			
⑤ 2分間スピーチ、講師からのフィードバック (30分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	19	講義
2	講義	20	模擬試験
3	講義		
4	講義		
5	模擬試験		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	模擬試験		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	模擬試験		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
17	模擬試験		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいどーばた美術学院で「多摩美大国語」を担当。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	アート研究コース・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	総合研究(アート研究)	工藤 礼二郎 鈴木吐志哉	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
【講義概要】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p> <p>鈴木吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	アート研究コース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	修了制作	工藤 礼二郎 鈴木吐志哉	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
【講義概要】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p>工藤礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</p> <p>鈴木吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際版画会議-木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座(デザインビジネス)	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。			
【講義概要】			
日本の伝統木版画の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話①（版の表現）		
2	版画よもやま話②（版画の技法）		
3	版画よもやま話③（素材と用語）		
4	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画②技法と制作システム		
6	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢		
7	日本開国！横浜絵と開化絵		
8	光線画の浮世絵師・小林清親		
9	日本の近代版画と創作版画運動		
10	詩と版画		
11	東京国際版画ビエンナーレと現代版画		
12	時代の寵児・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012-2020年）。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	留学生・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論(デザインビジネス)	天野純治	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拡げることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拡げることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品鑑賞		
6	作品プレゼンテーション		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品鑑賞		
12	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞、山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 屋間部（1年制）	2024年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座(デザインビジネス)	宮田 徹也	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。			
【講義概要】			
宮田徹也『芸術を愛し、求める人々へ』（論創社 2020年 ISBN978-4-8460-1895-5 C0070）の該当箇所（章を跨いだ通し番号）を予め読んで来てください。その上で考え、質問し、意見を交換する。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	『芸術を愛し、求める人々へ』1,2,3,4章		
3	//	5,6,7章	
4	//	8章	
5	//	9章134頁まで	
6	//	9章135頁から154頁まで	
7	//	10章	
8	//	11章	
9	//	12章、13章	
10	//	14章	
11	まとめ。		
12	総括		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100~95：A+ 94~80：A 79~70：B 69~60：C) 不合格(59~0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語A(美術進学)	蔣 燕萍	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける ②語彙力の向上			
【講義概要】			
日本語能力試験N1未取得者対象の言語知識、読解、聴解の実践練習および模擬試験。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	模擬試験		
6	講義		
7	講義		
8	模擬試験		
9	試験対策		
10	試験対策		
11	試験対策		
12	試験対策		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語B(美術進学)	メロス言語学院講師	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none">・一分間スピーチ……あらかじめ提示したテーマに沿って、一分間ずつ話してもらう。・Show&Tell……日本文化やデザインに関するテーマについて調べ、ビジュアルとともに発表してもらう。・美術語彙の聞き取り……『美の巨人たち』や『日曜美術館』といった美術に関する番組を視聴し、タスクシートを用いながら美術用語等の聞き取りを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	中間試験		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	留学生・前期／後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語C(美術進学)	中田 真梨子	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では、日本語の会話力の向上を目指します。			
【講義概要】			
この授業では、文化／芸術／エンターテインメント／社会問題にかんする異なる2つのテーマについて日本語で考え、会話をします。 以下の①②③④⑤を2セット行い、日常会話で役に立つフレーズ／語彙を身につけ、日本語の口語能力を鍛えます。			
① テキスト／映像資料によるテーマの発表、フレーズ／語彙の解説（20分）			
② 各自、テーマにかんするリサーチ（10分）			
③ プレインストーミング（15分）			
④ 各自、テーマにかんするスピーチの準備（15分）			
⑤ 2分間スピーチ、講師からのフィードバック（30分）			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	19	講義
2	講義	20	模擬試験
3	講義		
4	講義		
5	模擬試験		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	模擬試験		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	模擬試験		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
17	模擬試験		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいどーばた美術学院で「多摩美大国語」を担当。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程 ・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習(美術進学FA)	蔣 燕萍	4単位 102時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
Plan（計画を作成する）→Do（実行）→Check（行動を評価・分析）→Action（対策・改善）→Plan（計画を再制作）…というプロセスを循環させ、一人一人に合わせた進学プランを掘り下げて確立・進化する。			
【講義概要】			
この授業は研究科ファインアートコース生を対象とする。主に講師との個別対話で行う。 PDCAサイクル法でそれぞれが持つ課題を改善させていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信	18	情報発信・個別面談
2	課外授業	19	情報発信・個別面談
3	情報発信・個別面談	20	課外授業
4	情報発信	21	情報発信・個別面談
5	情報発信・個別面談	22	情報発信・個別面談
6	情報発信・個別面談	23	情報発信・個別面談
7	課外授業	24	課外授業
8	情報発信・個別面談	25	情報発信・個別面談
9	課外授業	26	情報発信・個別面談
10	情報発信・個別面談	27	情報発信・個別面談
11	情報発信・個別面談	28	情報発信・個別面談
12	課外授業	29	課外授業
13	情報発信・個別面談	30	情報発信・個別面談
14	情報発信・個別面談	31	情報発信・個別面談
15	情報発信・個別面談	32	情報発信・個別面談
16	課外授業	33	情報発信・個別面談
17	情報発信・個別面談	34	まとめ
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程 ・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習(美術進学VD)	蔣 燕萍	4単位 102時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
Plan（計画を作成する）→Do（実行）→Check（行動を評価・分析）→Action（対策・改善）→Plan（計画を再制作）…というプロセスを循環させ、一人一人に合わせた進学プランを掘り下げて確立・進化する。			
【講義概要】			
この授業は研究科ファインアートコース生を対象とする。主に講師との個別対話で行う。 PDCAサイクル法でそれぞれが持つ課題を改善させていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信	18	情報発信・個別面談
2	課外授業	19	情報発信・個別面談
3	情報発信・個別面談	20	課外授業
4	情報発信	21	情報発信・個別面談
5	情報発信・個別面談	22	情報発信・個別面談
6	情報発信・個別面談	23	情報発信・個別面談
7	課外授業	24	課外授業
8	情報発信・個別面談	25	情報発信・個別面談
9	課外授業	26	情報発信・個別面談
10	情報発信・個別面談	27	情報発信・個別面談
11	情報発信・個別面談	28	情報発信・個別面談
12	課外授業	29	課外授業
13	情報発信・個別面談	30	情報発信・個別面談
14	情報発信・個別面談	31	情報発信・個別面談
15	情報発信・個別面談	32	情報発信・個別面談
16	課外授業	33	情報発信・個別面談
17	情報発信・個別面談	34	まとめ
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	美術進学課程 ・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	自己表現力(美術進学)	中田 真梨子	2単位 63時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では、講師との対話をととして、研究計画書/小論文/願書を適切な日本語で言語化することを目指します。			
【講義概要】			
前期では、個別指導（ヒヤリング）を主に行います。研究計画書/小論文/願書に関するひとりひとりの課題を明確にし、その課題への取り組み方を一緒に考えます。 後期では、前期でのヒヤリングも継続しつつ、研究発表を行い、「書く/話す」の両面で自身の研究内容を効果的に伝える練習をします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	個別指導
2	個別指導	19	個別指導
3	個別指導	20	研究発表2
4	個別指導	21	まとめ
5	個別指導		
6	研究計画制作		
7	研究計画制作		
8	小論文作成		
9	小論文作成		
10	小論文作成		
11	研究計画、小論文発表		
12	計画修正、小論文添削		
13	個別指導		
14	個別指導		
15	研究発表1		
16	個別指導		
17	個別指導		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいどーばた美術学院で「多摩美大英語」を担当。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習・美術鑑賞(美術進学)	蔣 燕萍	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
想像力、教養知識、表現力、直感力などを向上させこと。			
【講義概要】			
想像力が磨かれたり、教養が身に付いたり、表現力が豊かになったりと、美術鑑賞には様々な効果やメリットがある。そのため、美術鑑賞を課題研究の一環として認識して欲しい。 合同行動の場合は事前に情報を知らせる。 各自行動の場合、どここの美術館やギャラリーに行くのかは各自に任せる。 翌日「美術鑑賞レポート」の提出を忘れなく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	研究計画作成
2	美術鑑賞	19	研究計画作成
3	レポート発表	20	研究計画発表
4	美術鑑賞	21	ポートフォリオ作成
5	レポート発表	22	ポートフォリオ作成
6	美術鑑賞	23	個別指導
7	レポート発表	24	個別指導
8	美術鑑賞	25	研究計画発表
9	レポート発表		
10	美術大学オープンキャンパス参加		
11	個別指導		
12	講義		
13	美術大学オープンキャンパス参加		
14	個別指導		
15	講義		
16	美術鑑賞		
17	レポート発表		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。			
中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイテム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	美術進学課程・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現(美術進学)	中田真梨子	2単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では、研究計画書／小論文／願書などで用いられる学術的な日本語の書き方を学び、読み手に伝わる文章を書くことを目指します。			
【講義概要】			
講師による講義、研究計画書／小論文／願書の作成、講師による日本語の添削			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	研究計画書作成		
5	研究計画書作成		
6	研究計画書添削		
7	講義		
8	小論文作成		
9	小論文作成		
10	小論文添削		
11	講義		
12	願書指導		
13	願書指導添削		
14	個別指導		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいどーばた美術学院で「多摩美大国語」を担当。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	美術進学課程・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	伝達力(美術進学)	靳沐之	2単位 60時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
伝達力を高めることを目指す			
【講義概要】			
・研究課題を決めるための「考え方のトレーニング」と研究計画作成法を行う ・研究計画のプレゼンテーション ・進学指導			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	願書作成指導
2	研究計画書指導	19	願書作成指導
3	小論文指導	20	願書作成指導
4	面接対策		
5	個別指導		
6	個別指導		
7	研究計画書発表		
8	小論文添削		
9	模擬面接		
10	模擬面接		
11	個別指導		
12	個別指導		
13	進学希望大学別対策		
14	進学希望大学別対策		
15	進学希望大学別対策		
16	ポートフォリオ作成		
17	ポートフォリオ作成		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程絵画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画総合研究ゼミA(美術進学)	川邊真生	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>・制作サイクルの確立</p> <p>まず作ってみることから始め、そこからテーマや方向性を発見し具体化していく。制作した作品を自分で鑑賞してそこから次の展開を考えていくが、制作のハードルを上げすぎずする必要はない。考えすぎて手が止まるよりは気軽に思いつきで新作に挑んでほしい。</p> <p>・日本語による発表力の上達進学するにしても作家活動をするにしても、日本で活動する以上は日本語で自分の考えを発表する必要がある。また、作品制作では抽象的な内容も扱うため、常に自分の作品を発表できるように準備しておくこと。</p>			
【講義概要】			
<p>主に会話形式で作品やテーマについて掘り下げていく。もちろん集中して制作する時間も必要だが、授業内では自由に発言してほしい。作品と一見関係のないことであっても、日本語で好きなものや自分の生活、最近考えていることについてなんでも話せる時間にしたいと考えている。制作に関しては作品数を重視している。特に絵画であれば、素材や表現と自分を接続するためある程度の枚数を必要とするので、空いている時間があればデッサンやドロ잉をする癖をつけてほしい。また、展覧会や読書、遊びなどを通して積極的に新しいものを取り入れる習慣を持つこと。自分の中にゼロからオリジナルが生まれるのではなく、外のことに対する反応として作品が発生する。その中で発見したものを授業中に教えてほしい。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1992年青森県生まれ。2016年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻首席卒業。2018年同大学大学院博士前期課程美術研究科絵画専攻油画研究領域修了。千代田美術指導学院で留学生を対象とした美術講師として勤務する傍ら、作品を制作する。主に東京で個展・グループ展を行う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	美術進学課程絵画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画総合研究ゼミB(美術進学)	葉 思堯	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>絵画の「イメージを運ぶ力」は、自己表現の範疇より遥かに遠くまで及びます。また、見る・描く・見せるという一連の行為は繋がっており、そのように作者は絵画表現を通して世界や他者と繋がっています。制作においては、テーマ・素材・技法の選択に限らず、構想と制作段階における細かい判断の一つ一つを精査し、自らの「絵画言語」を構築します。作家作品研究を通して、絵画とその周辺の空間（時代や社会も含め）は切り離せないことを理解し、展示構想を通して、支持体の周辺を巻き込んで「絵画空間」を立ち上げられることを試みます。</p>			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・実技制作：作品について講師との対話を通して、自身に問いを持つ習慣を身につけ、必要に応じて素材や技法を試みます。 ・テキスト作成&プレゼンテーション：自作の分析と、展覧会や作品の研究を行います。 ・展示構想 ・ポートフォリオ等の作成 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>2017年武蔵野美術大学油絵学科卒業、2019年同大学院修士課程油絵専攻修了。ペインティングとインスタレーションを中心に活動。美術レビューの執筆、翻訳も行う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程版画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミA(美術進学)	舒顔	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>進学ゼミ、当然全て進学のためにつとめる。学生自身の個人経験と版画制作と合致化させるのは本授業の目標である。さらに、デジタル時代・あるいはポスト・デジタル時代における版画は、古典な技法などを保ちべきが、単なる版画をじっくり制作するわけにはいけない。版画そのものは、革新している技術などと深く絡まり、情報をパブリック領域に発する前衛的な手段だと考えるべきだ。</p>			
【講義概要】			
<p>学生一人ひとりが特別な存在であり、まずは自分自身の経験などからスタートし、自分らしさを発見し続け、それを版画制作と結びつけていこう。そのものが大学院に進学しても続けて作っていけるのが望ましい。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>ポストデジタル時代の芸術におけるアイデンティティへの認識を研究している。東京藝術大学版画第一研究室 博士後期在籍中、藝大アーツイン丸の内 2021 伊東順二賞、中国成都市パブリックアートコンペティション 優勝賞、中国第十三回全国美展、2019年瀬戸内芸術祭、「JAPAN MEETS TIROL」Mieming オーストリア、「パブリッシュ オア ペリッシュ」The Cecille R. Hunt Gallery アメリカ</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2024年度	美術進学課程版画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミB(美術進学)	植田 爽介	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、4点以上の作品(実習参加による作品を含む)制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作及び指導。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2016年多摩美術大学絵画学科版画専攻卒業。2017年ブラティスラヴァ美術大学版画専攻に交換留学。2019年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻版画第1研究室修了。 以降版画だけでなく立体、インスタレーションなど幅広い表現を用いて個展、グループ展に多数参加。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程IL/GD/MD専攻 分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ビジュアルコミュニケーションデザイン演習(美術進学)	大石 恵美子	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ビジュアルコミュニケーションのデザインをするために必要な5つの基本的な力を養います。</p> <p>①柔軟な発想力 ②幅広い表現力 ③物量を克服する持久力 ④表現の説得力 ⑤自分のアイデアと技術を磨き上げる執着心</p>			
【講義概要】			
1つのテーマから100種類のビジュアルを作る			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、テーマ発表		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	制作指導		
5	個別指導		
6	講評会		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>アートディレクター。1987年東京藝術大学卒業。1989年同大学院デザイン科修了。株式会社電通入社。ニューヨークADC、ニューヨークフェスティバル、クリオ賞、カンヌ広告賞、他受賞多数。『新アートディレクター入門』編集、『プロモーションとアートディレクション』執筆。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程II専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション総合研究ゼミ（美術進学）	都築 潤	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマと制作テーマの確立 ・テーマポートフォリオの制作 ・テーマプレゼン用資料の作成 ・日本語プレゼンテーションの習得 			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・設定テーマに則したディレクション・プランニング課題 ・ディレクション・プランニング課題を基にした個別制作 ・個別制作のメディア選択（モーション/イメージメイキングetc） ・日本語コミュニケーションの練習 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程GD専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン総合研究ゼミ（美術進学）	関根 慎一	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマと制作テーマの確立 ・テーマポートフォリオの制作 ・テーマプレゼン用資料の作成 ・日本語プレゼンテーションの習得 			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・設定テーマに則したディレクション・プランニング課題 ・ディレクション・プランニング課題を基にした個別制作 ・個別制作のメディア選択（モーション/イメージメイキングetc） ・日本語コミュニケーションの練習 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程MD専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン総合研究ゼミ（美術進学）	白石慶子	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>アニメーションは、多様な人々が観られる大衆芸術でもあります。 自分の画や話を動かすことで他者の心を動かし、作品を媒体に人とコミュニケーションを取ることを目指します。</p>			
【講義概要】			
<p>アニメーションは、絵画・文学・音楽など多様な得意技を生かせる総合芸術でもあります。 コンテ・作画・撮影・編集などの制作を通して、進学のみならず作家として作り続けるための力を学びます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>東京藝術大学大学院アニメーション専攻修了。(株)サンライズCGアニメーター勤務後、独立。劇場・TVアニメ『地縛少年花子くん』『ダンガンロンパ3』『暗殺教室』『デジモンアドベンチャーtri.』OP・ED監督。NHKみんなのうた『日々』監督。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2024年度	美術進学課程IL/GD/MD専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ(美術進学)	上野仁志	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>各自の「研究テーマ」を構築し進化する。 または、「新たな研究テーマ」の探求・構築・進化する。</p>			
【講義概要】			
<p>「発想力を探る」「クリエイターに求められる力」等の講義を実施。 「研究テーマ」「新たな研究テーマ」を示す制作物を求め、アドバイスを実施する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 オリエンテーション、個別指導	86	～90 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
6	～10 制作、個別指導	91	～95 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
11	～15 制作、個別指導	96	～100 制作、個別指導、ポートフォリオチェック
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、個別指導、面接対策
21	～25 制作、個別指導、発表会	110	～115 制作、個別指導、面接対策
26	～30 制作、個別指導	116	～120 制作、個別指導、面接対策
31	～35 制作、個別指導	121	～125 制作、個別指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	126	～130 制作、個別指導
41	～45 制作、個別指導、ポートフォリオ指導	131	～135 制作、個別指導
46	～50 制作、個別指導	136	最終発表会
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、発表会		
61	～65 制作、個別指導、発表会		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導、中間チェック		
81	～85 制作、個別指導		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			